

# 「子宮体部悪性腫瘍における予後や転移に関わるバイオマーカー検索」 に関する研究

## 1、研究の対象

当院において1990年1月より2016年9月までの間に防衛医科大学校病院産科婦人科で治療を施行した子宮体部悪性腫瘍の患者さんが対象となります。

## 2、研究目的・方法

子宮体癌は術前に組織検査（癌細胞の有無の確認）を行い、病気の広がりを画像検査した後主に手術療法が行われます。子宮体癌は早期の発見が多いものの、リンパ節への転移がしやすいことも知られています。しかしながら術前にリンパ節転移を予測することは困難であり、正確な術前診断が難しいとも言われています。近年では早期子宮体癌への縮小手術が検討されていますが、リンパ節転移の有無が術前診断できないためどこまでの縮小手術が可能かが今後の課題となります。そこで本研究の目的は、子宮体部悪性腫瘍に対するリンパ節転移リスク因子の検討を行うことです。術前、もしくは手術時に摘出された検体と診療録からの情報を用いてリンパ節転移や予後に相関する蛋白等を同定することにあります。研究期間は平成33年3月31日までを予定しております。

## 3、研究に用いる試料・情報の種類

取得される試料・情報は通常診療録に記載される情報及び術前・手術等により摘出された検体を用いるものであり、この研究のために改めて情報を取得することや、侵襲を加えることはありません。取得する情報の内容としては以下の内容になります。

年齢、FIGO 病期やTNM分類（病気のひろがりや転移の有無のこと）、治療歴、初回治療から再発までの期間、治療開始から再発までの期間、最終生存確認日（または死亡日）等になります。また試料については摘出検体の未染スライドを用いて免疫染色（特殊な染色法）を行うことにより腫瘍細胞の蛋白等をより詳細に確認することを行います。

## 4、お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

防衛医科大学校 産科婦人科学講座 青山真

〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

電話：04-2995-1511（内線 2363）

FAX：04-2996-5213

研究責任者：

防衛医科大学校病院 産科婦人科学講座 教授

古谷 健一